

呼吸抵抗（モストグラフ）検査

概要

気道の空気の通りにくさ（呼吸抵抗）を評価する検査です。

検査方法

マウスピースを口でくわえていただき、鼻をノーズクリップで挟んで閉じ、口呼吸で普段の楽な呼吸をしばらく繰り返していただきます。マウスピースから一定の間隔で口に空気が送られますので、頬が膨らまないよう両手で押さえていただきながら検査を実施します。

検査で分かること

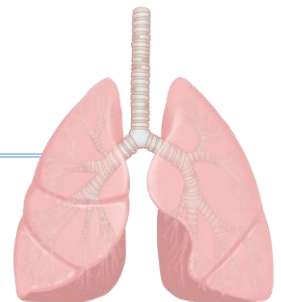
空気の通りにくさ（呼吸抵抗）を 3D グラフで表示し、気道を部位ごと（気道全体の上の方か、下の方か）に分けて評価しています。気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）のような気道が狭くなる疾患では、呼吸する際に空気が気道を通りにくくなり、測定値が高くなります。

注意事項

- ・マウスピースから息が漏れてしまうと検査をやり直しさせていただく場合があります。口が閉じにくい場合は担当技師が口元を押さえて検査する場合がありますので、ご協力お願いいたします。
- ・肩など体に力が入っている場合には正確な検査結果が得られない場合があります。普段の楽な呼吸のみで検査できますので、力を抜いてリラックスして検査を受けてください。

所要時間

約 5～10 分程度



よくある質問

Q：この検査と呼吸機能（スパイロメトリー）検査の両方を受ける必要はあるのですか？

A：呼吸機能（スパイロメトリー）検査結果では変化がなくても、呼吸抵抗（モストグラフ）検査結果に変化がみられる患者様もおられます。両方の検査を受けていただくことで、より多角的に評価を行うことができます。

Q：入れ歯をしています、問題ないですか？

A：問題ありません。マウスピースがくわえにくいなどがある場合には外していただいても構いません。

